

宿泊税月計表

1 令和8年 ●月分

証票番号	2 ●●●●	施設の名称 又は届出番号	3 軽井沢町税務課ホテル
------	--------	-----------------	--------------

日付	宿 泊 数						
	4 課税対象			7 課税対象外計 ①+②	5 1人1泊6千円未満 ①	6 課税免除 ②	うち外国の大使等 の任務遂行
	1人1泊6,000円～ 1万円未満	1人1泊1万円～1 0万円未満	1人1泊 10万円以上				
1		1		1	1		
2	2	1		2	2		
3		5		1	1		
4		1		2	2		
5		5		2	2		
6	1	1		2	2		
7		2		2	2		
8	6	9		3	3		
9		1		0			
10	1	5		1	1		
11		8		5	5		
12		6		3	3		
13	6	5		2	2		
14	8	1		2	2		
15	2	3		6	1	5	
16		1		0			
17		2		0			
18		2		2	2		
19		2		2	2		
20		2		1	1		
21	5	5		3	3		
22	4	2		0			
23	3	2		3	3		
24	4	2		2	2		
25		2		1	1		
26	4	5		2	2		
27	4	2		0			
28		5		0			
29		2		2	2		
30		2		3	3		
31		8		0			
計	8 50	100	0	55	50	5	0

納入申告書の内訳資料として必ず添付してください。記載項目を満たしていれば任意の様式で結構です。

月計表 記入の手引き

① 「令和 年 月分」欄

申告の前提となる宿泊行為があった年月(納入申告書の提出月の前月)を記載してください。(納入申告書の④「申告年月」欄と同じ年月となります。)

② 「証票番号」欄

宿泊税特別徴収義務者証票(※)の右上に記載の番号を記載してください。

※特別徴収義務者に登録申請をした方に、5月中旬以降順次送付いたします。

③ 「施設の名称又は届出番号」欄

・宿泊施設の所在地及び名称を記載してください。

・**住宅宿泊事業の場合**は、「名称又は届出番号」欄に住宅宿泊事業の届出受理の際に発行される標識に記載された届出番号を記載してください。

例：「M20●●●●●●●●」

※「M20」を含めすべて記載

④ 「課税対象」欄

課税対象となる宿泊数を、税区分ごとに日ごとに記載してください。

⑤ 「1人1泊 6千円未満」欄

課税対象外となる1人1泊 6千円未満の宿泊数を、日ごとに記載してください。

⑥ 「課税免除」欄

軽井沢町宿泊税条例第3条の規定により課税免除される宿泊数(学校の教育活動などの宿泊を指します)と、そのうち外国大使等課税免除の宿泊数を日ごとにそれぞれ記載してください。

⑦ 「課税対象外計」欄

⑤と⑥の合計宿泊数を日ごとに記載してください。

※Excelで作成する場合、自動計算となります。

⑧ 「計」欄

それぞれの合計宿泊数を記載してください。なお、この数字が、宿泊税納入申告書(様式第1号)の「宿泊数」欄と合致していることを必ず確認してください。

※Excelで作成する場合、自動計算となります。